

秋田県移住ガイドブック

“

”

秋田暮らし

2020-2021

▲ はじめの一步 ▲

全25市町村掲載
「市町村ガイド」

秋田への移住に
役立つ情報満載!

地域で、
生きる。

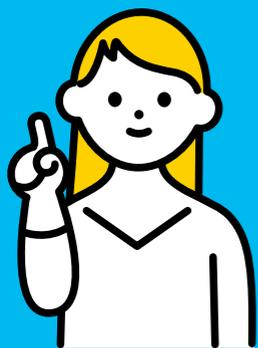
特集：移住者インタビュー

それぞれのはじめの一步。

秋田への移住を考えはじめたら…

住まい探しをお手伝い! / 各種支援のご紹介

あなたの「明日」は、
きっと、秋田にあります。



過密な都会生活から離れ、仕事と
家庭とのバランスを取りながら、
自分らしいライフスタイルを実現
してみませんか？

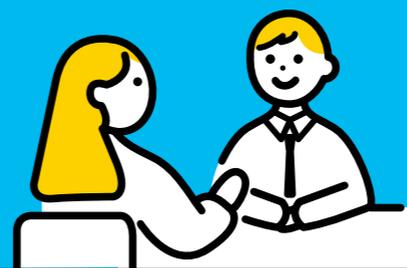


移住までの
ステップ



STEP1 知る

まずは「今の秋田を知る」ことが大切。
本誌をはじめ、県や関係機関の発行
するガイドブックや、Webサイト、イ
ベントなどで最新の情報を集め、具
体的なイメージを膨らませてみましょう。



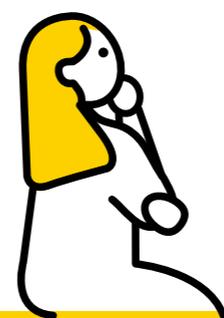
STEP2 相談

具体的な相談ができる窓口や相談会
に行ってみましょう。仕事や暮らしの
不安・疑問を解消できるよう関係機
関が連携してさまざまなニーズにお
応えします。気軽にお立ち寄りください。

STEP3 体験

移住前に、実際に秋田での暮らしを
体験すると安心です。特に、雪に慣
れていない方は冬の秋田を訪れてみ
ましょう。地域の雰囲気を感じたり、
頼れる人物に出会えたり、移住への
不安も解消されるはずですよ。

FumFum..



表紙について

鹿角市大湯地区にある共同浴場「下の湯」。この浴場に通う地域の皆さんと、大湯地区に移住した諏訪さん夫婦（写真中央）。温泉を通じて、住民同士が親交を深めています（諏訪さん夫婦のインタビューはP7をチェック！）。

INDEX

- P04 知っておきたい！秋田ってこんなところ！
- P07 移住者インタビュー それぞれのはじめの一步。
- P14 数字で秋田暮らしの魅力を紹介！
- P16 秋田への移住を考えはじめたら…
- P17 移住相談なら、A ターンサポートセンターへ！
- P18 しごとを探すなら！
- P19 A ターンフェアに参加しよう！
- P20 最大で200万円が受け取れる移住支援金のご紹介
- P21 地域を元気にする力になる、地域おこし協力隊を募集しています！
- P22 事業をはじめよう！
- P24 地域に根ざした“起業家”を目指す「ドチャベン」ってなに？
- P26 就農したい人集まれ！
- P28 林業・漁業もバックアップ！
- P30 住まい探しをお手伝い！
- P32 気になったらお試ししよう！移住体験住宅のご案内
- P34 安心に包まれた場所。秋田の子育て事情をレポート！
- P36 全国トップレベルの子育て支援
- P38 “学力全国トップクラス”の秘密
- P39 秋田の教育を実際に体感しよう！
- P40 秋田県市町村ガイド
- P47 秋田暮らしを応援する お役立ち情報



Webサイト・SNSも更新中！

移住イベントなどの最新情報は、秋田県移住・定住総合ポータルサイト「“秋田暮らし”はじめの一步」やSNSでも配信しています！

Webサイト・SNSはこちらから▶

秋田暮らし 検索



秋田ってこんなところ!

秋田のイメージって、「雪国」とか「ナマハゲ」とか「きりたんぼ」…。
ほかに、どんなことを思い浮かべますか?
移住を検討するなら、最初に知っておきたい情報をまとめてみました。

DATA まずは基本情報!

面積は全国で6番目に大きく、
人口密度は東京の約72分の1!

人口 **956,093** 人

面積 **11,638** Km²

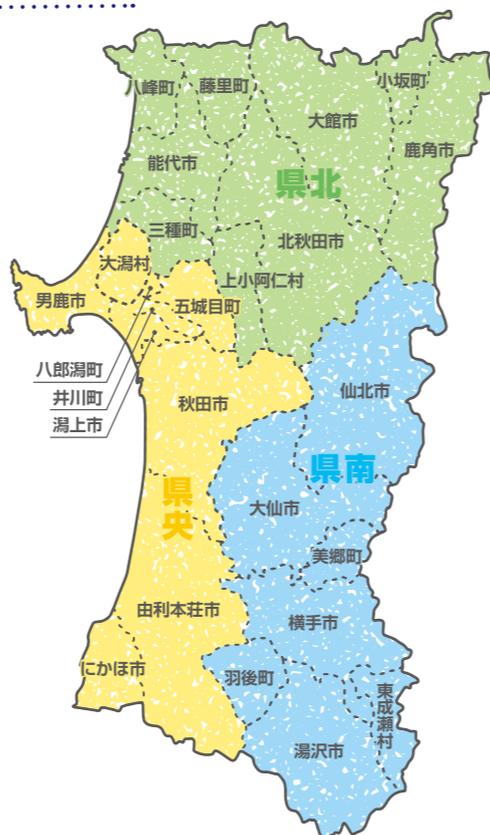
(2020年5月1日現在)

エリアガイド

南北に広がる秋田県は、
地域によって特色のある豊かな食文化やさまざまな観光名所があります。



県内の位置関係を知りたい!



県北

世界遺産の白神山地や十和田湖、八幡平があり、自然環境に恵まれています。養豚など畜産が盛んで、きりたんぼ鍋、秋田犬など、秋田を代表するコンテンツも。

県中央

県庁所在地の秋田市があり、交通の便が良く、積雪も少ない地域です。男鹿半島や鳥海山など豊かな自然がある一方で、県のリーディング産業である電子デバイス産業が集積しています。

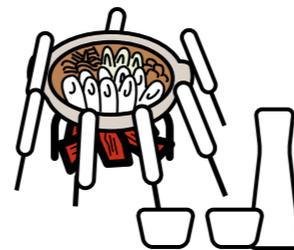
県南

稲作が盛んで、酒蔵が多いエリア。全国的に有名な大曲の花火や、角館、田沢湖などの観光地があります。県内でも有数の豪雪地帯ですが、冬の小正月行事がいっぱい!

01 食

食料自給率、全国2位。
うまいものだらけ!

「食料自給率」が全国2位*の秋田県。「きりたんぼ鍋」や日本三銘うどんの「稲庭うどん」などのグルメも充実! 食事と合わせて楽しむ日本酒の製造が盛んなのも米どころの秋田ならではの。



*平成29年度「都道府県別食料自給率」(概算値)(農林水産省)

04 自然

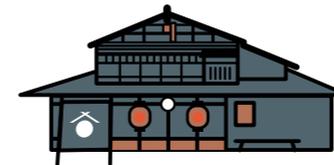
周りきれないほどある、
素晴らしい景色。

日本海に面し、世界自然遺産に登録された「白神山地」や、奥羽山脈、鳥海山などの山々がそびえるという大自然に囲まれています。自然と一緒に楽しむ温泉も充実しており、野趣あふれる秘湯や、古い歴史を持つ名湯、気軽に立ち寄れる温泉などが、県内各地に数多くあります。



秋田暮らし ここが自慢!

02



都市の魅力

自然と都市のバランスが
ちょうどいい!

のどかな田園風景が広がっていて、自然が豊かなのはもちろんのこと、実は秋田市をはじめ、県内各地にこだわりのセレクトショップや雑貨店、古民家カフェなどが。豊かな自然とスタイリッシュで文化的な雰囲気が共存しています。

05



産業

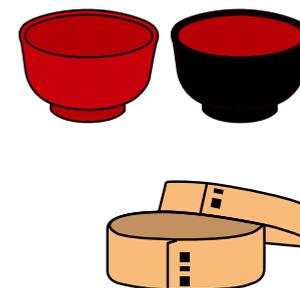
先進分野の
産業集積も進んでいます。

洋上風力発電などのエネルギー供給基地形成の推進や、電子デバイス産業の集積など技術力の高さが光る産業も盛んです。また、先進技術の活用に向けたICT人材の育成にも取り組んでいます。

03 伝統工芸

木を使った
秋田ならではの工芸品。

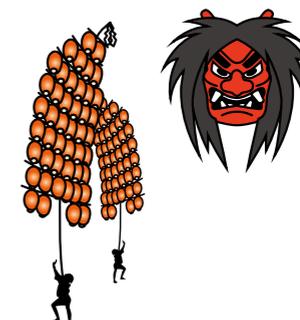
国内はもちろん、海外からの人気も高い「大館曲げわっぱ」。秋田杉の板を曲げて整形する技法はほかでは見られないものです。また、山桜の皮を使った「樺細工」や、湯沢市川連に伝わる「川連漆器」など、木を加工した工芸品が多いのが特徴です。



06 祭り・文化

国指定重要無形民俗
文化財の数は全国一!

全国で一番「国指定重要無形民俗文化財」が多いのが秋田県。ユネスコ無形文化遺産にも登録された「男鹿のナマハゲ」のほか、多種多様な祭礼が県内各地で開催されています。人々の願いが込められた行事は、今もその想いととも受け継がれています。



雪国の冬の暮らしガイド

地域によって異なる積雪量

おそらく多くの人が気になるのが「雪」ですね。秋田県は典型的な日本海型気候。冬は季節風が強く、降雪量が多くなりますが、エリアによって積雪量は全く異なります。最深積雪の平年値は沿岸部の秋田市で38cm、内陸南部の湯沢市で89cm。積雪の少ない沿岸部も風が強いので、道路が凍ることも。



積雪が多いのは1月上旬から2月半ばくらい。一面真っ白です

POINT 1

積雪の多い地域では、冬は朝起きる時間を早めて家の前や車の上の雪かきをします。路面状況が通勤時間に影響するので時間にゆとりを持つことが大切！



POINT 2

冬は暖房で光熱費がかさみます。でも子どもたちは雪で遊べるので大喜び！私は雪かきでダイエット作戦。寒いのに汗だくになるほどの運動量です。



秋田の冬の必須アイテムをご紹介します

手袋&長靴



一家に最低1セットはマスト。雪かき時にはもちろん、普段使いにも。

スコップ



用途に応じてさまざまな種類の雪かき用スコップがあります。

スノーダンプ



大量の雪を除雪するための必須アイテム。雪質によっては、重さも異なります。

スタッドレスタイヤ



だいたい11月くらいにはタイヤ交換。安全な車の運転には欠かせません。

オンラインDE秋田暮らし



ふるさとへの帰省や、
将来の移住に向けた
お試し旅行をWEB上で!!

動画で秋田の暮らしを体験!

Web上で、ふるさとへの帰省や将来の移住に向けたお試し旅行を疑似体験できる専用のまとめサイトを開設しています。県内全市町村の見所、お祭りや伝統文化、四季折々の秋田暮らしを体験できる動画を見ることができます。ぜひアクセスしてください!

アクセスはこちら▶



移住者インタビュー

それぞれのはじめの一步。

移住したいけれど、踏み出す勇気が…という方も多いはず。

そこで、先輩移住者の方に「起業」「転職」「子育て」という3つの観点からそれぞれが秋田で暮らしてみている“本音”を語っていただきました。

自然豊かな秋田ならではの文化や暮らしに寄り添う、ワインショップ・ゲストハウスをオープン。



諏訪 芳明 (すわよしあき) さん 英子 (えいこ) さん

神奈川県から鹿角市へ

[移住歴] 2年

[家族構成] 夫婦2人

01

01



サステイナブルな暮らしと経営を目指して。

鹿角市で出会った二人で、古民家をリノベーション

開湯 800 年の歴史を持つ、鹿角市の大湯温泉郷。この土地で2019年にワインショップとゲストハウスをオープンさせた夫婦がいます。神奈川県から移住した諏訪芳明さんと、鹿角市出身で、同じく神奈川県から移住した英子さんです。

「二人とも鹿角市に移住する前は神奈川県に住んでいましたが、お互いが出会ったのは鹿角市なんです。私が先に鹿角市に移住していたところ、実家に帰省していた妻と出会いました」と芳明さん。芳明さんの父親の生家が鹿角市にあり、実家の古い建物を引き払うことを知った芳明さんは、慌てて待ったをかけたと言います。「子どもの頃に何度か訪れてい

て、都会にはない豊かな自然や温泉文化が魅力的だなと感じていました。だからこそ、この土地の歴史が詰まった建物を壊さずに活用できないかと考え、2018年に鹿角市へ移住しました」(芳明さん)。

一方、鹿角市出身の英子さんは長年地元を離れ、神奈川県の逗子でカフェを経営していました。「実家に帰省したタイミングで夫と出会いました。鹿角市で新しく事業を立ち上げると聞き、鹿角市で生まれ育っていない人ががんばろうとしているのだから、自分も地元で何かやってみようと思ったんです」(英子さん)。そして逗子のカフェを閉め、鹿角市への移住を決意しました。鹿角市が独自に移住希望者を支援する「鹿角市移住コンシェルジュ」に相談し、助成金を受け取るためのサポートなどを受けたと言います。



自然豊かな鹿角暮らしの魅力を見

「移住前は、鹿角市を知る親類から『田舎は閉鎖的だから苦労も多い』と聞かされていました。でも実際に来てみると、ワインショップやゲストハウスのオープンにあたり、協力的にサポートしてくれた方がとても多かった。人付き合いの環境もよく、本当に人と土地に恵まれたと思います」(芳明さん)。「二人で事業の方向性を決めるうちに、『サステイナブル(持続可能)』という考え方が共通するキーワードだと気づきました。私は逗子のカフェで地場産の野菜を多く取り入れたスローフードを提供していました。鹿角市でも地域資源を活用し、無理なく継続していくことができれば、鹿角市への移住や起業のモデルケースにもなると考えたんです」(英子さん)。鹿角市は豊富な温泉資源を活用した地熱発電や、山間部の高低差を生かした水力発電など、自然エネ



ギーによる発電が盛ん。地域の歴史や文化、食材を生かし、持続可能なライフスタイルを目指す諏訪さん夫婦の価値観が、鹿角市の環境とぴったり一致した事業こそが、ワインショップとゲストハウスだったのだそう。

オープンした店舗を訪れる人の中には、海外からの旅行者も多く、二人は来訪者に鹿角の魅力を伝えています。「以前住んでいたときには気が付かなかった魅力に、移住してから気がつくことができ、とても新鮮な気持ちです。十和田湖や大湯環状列石などの観光地もいいですし、時には宿泊のお客さんと山菜を取りに行ったり、一緒に散歩したり、ただのんびりと歩くだけでも気持ちがいいですよ」と、

穏やかにほほえむ英子さん。これからは鹿角市の豊かな自然に寄り添いながら、大湯を訪れる旅行者にひとときの癒やしを届けます。



Kura Wine Oyu Bar & Stay Yuzaka

160年前に建てられた蔵をリノベーションしたワインショップと、古い旅館を改装したゲストハウス

先輩 移住者さんに聞きました!

移住後の変化あれこれ!

食費 -Food expenses-	住居費 -Housing expenses-	光熱費 -Utility costs-
DOWN ↓	DOWN ↓	DOWN ↓
交通費 -Transportation expenses-	収入 -Incomes-	生活費総額 -Cost of living-
DOWN ↓	DOWN ↓	DOWN ↓

家の近くに公衆浴場があるので、お風呂は毎日温泉です!

ぜひ鹿角市に遊びにきてください!





土崎 美咲 (つちぎき みさき) さん
 東京都から秋田市へ
 [移住歴] 3年
 [家族構成] ひとり暮らし

02

業種は変わっても、子どもと関わる仕事がしたい。

Aターンを 考えはじめたきっかけ

秋田市中通に本店を構える岩田写真。ここで人事や総務に携わる、八峰町出身の土崎美咲さんは3年前に東京から秋田へAターン就職しました。土崎さんは、保育士をしていた母親の

影響で、将来は幼児教育に携わりたいと考えていました。高校卒業後は、北海道の大学に進学し、幼児発達心理学について学びました。卒業後は、保育園を運営する東京の大手企業に就職します。「東京に住みたかった、というよりは、やりたい仕事が東京にあったので、東京で働くことを決めました。満員電車や人混

東京での経験やスキルを生かし、地元秋田で、自分のやりたいことができる企業とマッチング



みの息苦しさが苦手で、入社2年目くらいから、秋田に帰ることを考えるようになりました」と土崎さん。SNSを通じて東京在住の秋田県出身者が集まるイベントが定期的に開催されていることを知り、参加していたそう。「東京にしながら地元と関わり、秋田県出身者と知り合えることはとても魅力に感じられました。特に影響を受けたのは、秋田県出身の経営者をゲストに招いた講演会です。秋田で活躍する女性経営者の方がいきいきと講演する姿は、とても輝いて見えました。自分にも秋田で活躍できる場所があるかもしれない、と思ったことをきっかけに、具体的にAターンを検討するようになりました。

人や企業とのつながりにも恵まれ、Aターンを実現

移住を検討する際に、土崎さんは自身の持つスキルや経験を生かせる仕事に就けるかどうかを重視したと言います。「秋田県出身者が集まるイベントで、東京にAターン相談の窓口『Aターンサポートセンター』があると知り、早速相談に行ってみました。窓口で紹介された『Aターン登

録』や『あきた就職ナビ』も活用しましたが、何より相談員の方の手厚いサポートはとても心強かったですね。岩田写真の求人を見つけたとき、お子さんの写真撮影も行っていることを知りました。子どもを相手にする仕事なら、自分の経験が生かせるのではないかと考えて応募を決めたんです」。当時在職中だった土崎さんは、東京で面接ができたことや、入社タイミングを柔軟に対応してもらえたことで、ほとんど東京にしながら秋田での就職を決めることができました。

「秋田に移住するギリギリまで仕事を続けていたので、住まい探しや引っ越しは大変でした。秋田を長く離れていたのが、車の運転や雪への不安もありましたが、暮らすうちに自然と慣れました。東京で暮らしていたころのように人混みで気疲れすることも無くなり、時間に余裕ができました。充実した生活を送ることができています」。

土崎さんは、今の職場との出会いが無ければ移住は実現しなかった、と当時を振り返ります。「東京で出会った秋田県出身者のコミュニティーは情報の面でも、気持ちの面でも、とても励みになるも

のでした。就職先も人とのつながりも、ご縁に恵まれたなと感じています。Aターンサポートセンターに限らず移住相談のイベントなど、相談先は色々あります。まずは誰かに相談することで、可能性の幅がぐっと広がることを自分の経験を通して学びました。今移住で悩んでいる方にも、まずは相談！と伝えたいですね」とこれから移住を検討する方へアドバイス。

秋田に戻り3年が経った土崎さん。地元の八峰町にいる家族と過ごす時間も増え、秋田暮らしを満喫しています。



岩田写真

1922年創業。秋田を拠点に、北東北に店舗を展開し、七五三からウエディングまで、幅広く記念写真のプロデュースを行っている

先輩 移住者さんに聞きました！

移住後の変化あれこれ！

食費 -Food expenses-	住居費 -Housing expenses-	光熱費 -Utility costs-
STAY →	👍 DOWN ↓	UP ↑
通勤時間 -Commuting time-	収入 -Incomes-	生活費総額 -Cost of living-
👍 DOWN ↓	DOWN ↓	👍 DOWN ↓

今はインターネットで何でも買えるので、買い物にもあまり困りません！

私らしい
ライフスタイルを実現！





小林祐太(こばやし ゆうた)さん
 みゆきさん
 怜司(れいじ)くん
 奏太(そうた)くん
 柚月(ゆづき)ちゃん
 東京都から大館市へ
 [移住歴] 半年
 [家族構成] 5人家族

03

子育てすることを、 職場や地域が応援してくれる場所

家族5人が秋田への 移住を決めるまで

子どもたちの賑やかな笑い声が絶えない小林さん一家は5人家族。大館市に住むご主人の祐太さんの父親が体調を崩したことをきっかけに、2019年の冬、家族で移住しました。祐太さんの移住の提案に、当初妻のみゆきさんは大反対。東京で生まれ育ったみゆきさんにとって、秋田への移住は想像もつかなかったと言います。

「夫の実家には、子どもたちを連れて年に何度か遊びに行っていました。自然も多く、のんびりしたいところだな、とは思っていましたが、移住するとなると話は別です。地元の家族を思う夫の気持ちも分かりますが、何もかも勝手が違う環境で暮らせる気がしませんでした」と、みゆきさんは当時を振り返ります。それからも

二人の話し合いは平行線。そこでみゆきさんは、ある程度の所得が確保できる企業への就職ができるなら移住してもいい、という条件を出しました。「東京の移住相談窓口や、Aターンフェアを活用し、就職先を探しました。地元の大館市に工場を持つ、大手製薬メーカーの求人に応募し、なんとか就職が決まりました。妻にとっては『決まってしまった』という気持ちだったと思います(笑)」(祐太さん)。祐太さんの就職先が決まったことで、本格的な移住の準備が始まりました。

冬場の移住は 苦労がいっぱい!

「冬場の移住はあまりおすすめできません(笑)」と切り出したみゆきさん。「2019年の冬に家族5人で秋田に引っ越しましたが、慣れない新生活に加えて、雪道

生活水準はそのままに、
 のびのび子育てできる
 環境が秋田にありました。



の運転や、雪かきなど、東京では経験しないことばかり。秋田の冬の過酷さを身にしみて感じました(みゆきさん)。「私も長く秋田を離れていたのですが、秋田の冬はわかっていても辛かった。それでも秋田に来てよかったなと思うこともたくさんあるんです(祐太さん)。東京ではアパートで暮らしていた小林さん一家。3人のお子さんを育てることにとっても苦労したと言います。

「いつも人目を気にして出かけていました。子どもを3人連れていて迷惑に思われることも多く、アパートのご近所さんからも実際に心無い言葉を言われたり、嫌がらせを受けたりすることもあったんです。アパート暮らしも限界かなと思って戸建てを買おうか、という話もあったんですが、東京の一軒家はとても買えるような値段ではなかった(祐太さん)。「秋田に来てからは子育てがとても楽になりました。どこへ行くにも人目を気にしなくていいですし、周りの人もとてもおおらかに接してくれます(みゆきさん)。みゆきさんがお子さんを連れて歩いていると地元の方から「お母さん、がんばってるね」と声をかけ



られることもあるといいます。「保育園もすぐに決まり、私も働けるようになりました。子どもの人数が少ない分、一人一人にきめ細やかな保育が行き届いていると感じます。次男や長女は、秋田に来てからぐんぐん言葉を喋るようになり、自主性も出てきました。楽しんでコミュニケーションできている証拠だと思います(みゆきさん)。

祐太さんも移住前に比べ、長く仕事に拘束されることが減り、家族と過ごす時間が格段に増えたそう。「秋田での暮ら

しは、不自由な面も色々ありますが、子どもたちには自然の中でのびのび育てたいですね(祐太さん)。



先輩 移住者さんに聞きました!

移住後の変化あれこれ!

食費 -Food expenses- 👍 DOWN ↓	住居費 -Housing expenses- STAY →	光熱費 -Utility costs- UP ↑
家族との時間 -Family time- 👍 UP ↑	収入 -Incomes- DOWN ↓	生活費総額 -Cost of living- 👍 DOWN ↓

全体の収入は下がりましたが、生活水準は変わっていません。近々大館市内に念願のマイホームを建てる予定です。

パパと遊ぶ時間が
 増えたよ!



数字で

秋田暮らしの魅力を紹介します!

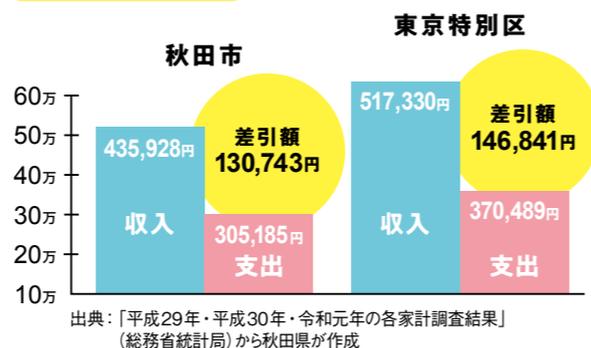
移住すると暮らしはどう変わるの? 収入や住まい、教育のことなど、気になる暮らしの違いから、秋田暮らしの魅力をチェックしましょう!

収入・支出

収入面では、地域の賃金水準から差が生じています。しかし、消費支出額は物価水準の違いなどから秋田の方が低いため、手取収入*と消費支出額の差引額は **首都圏とそれほど大きな違いはありません。**

*実収入(いわゆる税込収入)から税金や社会保険料等の非消費支出を差し引いた金額(可処分所得)

収入・支出



子育て環境

子育て環境の良さも秋田の魅力のひとつです。中でも保育園の入りやすさは、東京では**67人に1人が入園できない**のに対して、秋田では**250人に1人**と、大きく差があります。



出典:厚生労働省雇用均等・子ども家庭局「保育所等関連状況とりまとめ(2019年4月1日)」から秋田県が算出

教育水準

毎年**全国でトップクラス**の成績を収めている秋田の児童・生徒の学力。家庭学習の習慣や「探究型授業」など、教育環境に恵まれています。

全国学力・学習状況調査



公立小学校6年
国語 **1位!**
算数 **2位!**
(平均正答率)

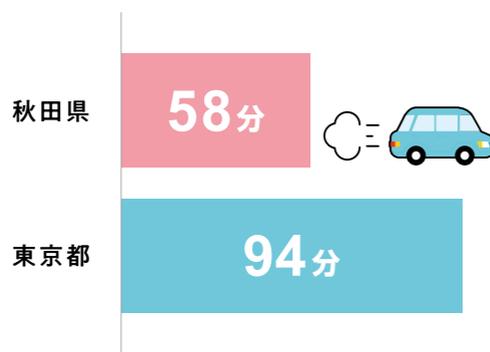
公立中学校3年
国語 **1位!**
数学 **2位!**
(平均正答率)

出典:平成31年度「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)

通勤時間と生活時間

通勤時間

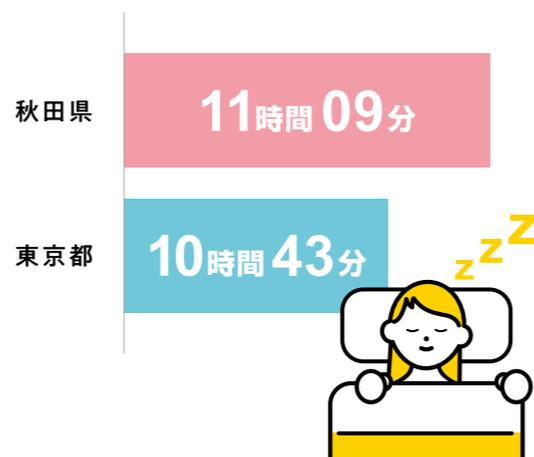
毎日の通勤時間は首都圏に比べて**30分以上短く**、**満員電車によるストレスもありません。**



出典:「平成28年社会生活基本調査結果」(総務省統計局)から秋田県が作成

生活時間

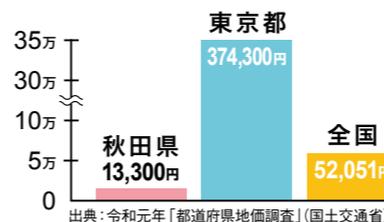
帰宅時間も早まるため、**睡眠、食事などの自宅で過ごす時間(一次時間)が全国で一番長く**、特に睡眠時間は男女ともに全国1位です。



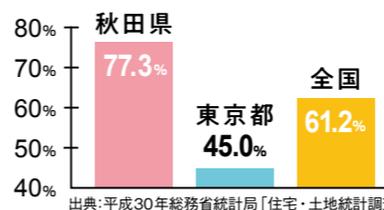
住環境

宅地の平均価格は全国で一番低く、全国平均の3割以下。宅地価格が低いことから、大きな家でゆったり暮らすことができます。**持ち家住宅率もトップクラス!**

1㎡当たりの宅地平均価格



持ち家住宅率



防犯・安全

治安や防犯といった安全面も押さえておきたいポイントです。都会と比べると、犯罪発生も格段に少なく、**安心して暮らせる環境**が整っています。

刑法犯認知件数

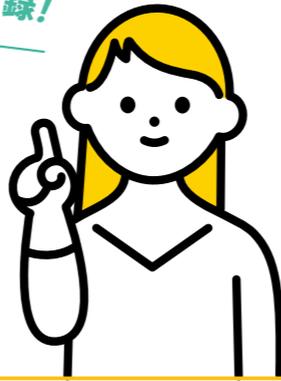


犯罪の少なさは **全国2位!**

出典:令和元年「犯罪統計資料」(警察庁)

秋田への移住を 考えはじめたら...

まずは登録!



秋田への移住を具体的に考えたい。
でも何から始めればいいのか? そんなときに役立つ支援制度のご紹介です。

移住定住登録

秋田県外から秋田県に移住を希望する方が対象の登録制度です。
ご登録いただくと、秋田暮らしの実現に向けて継続したサポートを受けることができます。

登録はこちらから!

秋田県移住・定住総合ポータルサイト
“秋田暮らし” はじめの一歩

<https://www.a-iju.jp/>
Aターンサポートセンターの
窓口でも可能です。



1. 移住ニーズに合わせた情報を個別にお知らせ
2. 支援メニューや移住相談会などの情報を提供
3. 先輩移住者との交流会などで定住をサポート
4. 移住後の暮らしに関する相談にも対応

さらに

移住定住登録をして秋田に移住すると、こんな特典が!

◆ はじめての秋田暮らし応援事業

引越し費用、暖房器具や除雪機械・器具などの購入に要する費用の一部を助成します。

※詳細については、秋田県移住・定住総合ポータルサイト
「秋田暮らし」 はじめの一歩 からご確認ください。



◆ 移住お得区プレゼント

秋田のプロスポーツチームの無料招待券等をプレゼント! 「スポーツ立県あきた」を体感しよう。対象となるチームなど、詳しくは最終ページ(P47)へ!

◆ ウェルカムパスポート

秋田県内25カ所のスポーツ施設や美術館、博物館などでさまざまな特典が受けられる「ウェルカムパスポート」をプレゼント! どんどん活用して秋田ライフをお得に満喫しよう。

暮らしと仕事
ここで相談!

移住相談なら、 Aターンサポートセンターへ!

いざ、移住を検討するようになったとき「どこに相談したら良いの?」と思うはず。
首都圏でAターンのすべてをサポートしてくれる窓口のご紹介です。

幅広い相談に対応します!

- 秋田暮らしの魅力のご紹介
(自然環境、風土、教育・子育て環境など)
- 仕事(就職・就農・起業など)情報のご案内・相談対応
- 移住相談会など各種イベント情報のご紹介
- 各種移住支援制度のご紹介・あっせんなど



進藤
相談員



阿部
相談員

お気軽に
ご相談ください!

相談員に聞いてみました!

Q. 何から相談したら良いかわかりません。

A. 多くの方が、いろんな思いで相談に訪れます。まずは、お話を聞かせてください。その上で、私たちが連携している関係機関とともに、秋田への移住をバックアップします!

Q. どんな相談が多いですか?

A. 仕事に関する相談が多いです。最近は起業やライフスタイルに合った働き方の相談も増えています。就職相談窓口「Aターンプラザ秋田」(P19)と連携し、求人情報の提供や就職相談にも対応。暮らしと仕事の両面からサポートします!

相談の流れ

STEP1 相談予約をしよう。

まずは「Aターンサポートセンター」の窓口へ、電話(080-9292-5195)か、メール(akita1@furusatokaiki.net)で相談予約を。

STEP2 窓口へ行こう。

移住までに必要なことなどを一緒に整理し、相談者のニーズに応じた情報提供や、各種窓口を紹介します。
※窓口へのご来場が難しい方は、TELまたはメールでも対応します。

STEP3 セミナーやイベントに参加しよう!

首都圏などで開催されている秋田の移住に関するセミナーやイベントの情報もお伝えします。興味があれば、ぜひ参加してみましょう!

オンライン相談も開始しました!

詳しくはこちら▶



あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

相談日 火曜～日曜(祝日・お盆・年末年始期間・臨時休館除く)
相談時間 11:15～18:00
場所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F NPO法人ふるさと帰郷支援センター内
アクセス JR有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車、東京メトロ有楽町駅(地下直結)
連絡先 ☎080-9292-5195 Email: akita1@furusatokaiki.net



しごとを探すなら!

移住にあたり、一番気になるのは「しごと」。県外にいながら秋田での就職先を探す方法がわからないという方に、Aターン就職に向けたサポートをご紹介します。

まずはAターン登録をしよう!

Aターン登録とは…

秋田県内の企業に就職したい県外在住者と人材を獲得したい県内企業を結び登録制度です。Webサイト「あきた就職ナビ」から登録できます。Aターン就職をお考えの皆さんはぜひご登録ください!



"Aターン登録"すると、こんなメリットがあります。

- 1 スマホ・PCから手軽に求人情報をチェック&応募**
「あきた就職ナビ」で、職種や勤務地で求人情報を検索し、ワンクリックで応募することができます。またマイページで、希望職種の新着求人やこれまでの応募状況を確認できます。
- 2 企業からの応募リクエスト**
企業から、自社求人への応募のオファーが届くことがあります。このリクエストに応じて応募することで、就職マッチングの可能性が高まります。
- 3 面接交通費の助成あり!**
県外在住者(社会人に限る)が秋田県内で面接を受ける場合、交通費の助成を受けることができます。詳しい要件は「あきた就職ナビ」でご確認ください。
- 4 まだまだある! 登録のメリット**
就職相談会「Aターンフェア」の開催情報や、市町村や企業などの情報、Aターン就職情報誌「あきた日和」の提供など、さまざまなサービスを受けることができます。

登録はコチラから!

Aターン就職マッチング支援サイト
あきた就職ナビ

公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

場所 〒010-1413 秋田市御所野地藏田3-1-1 秋田テルサ3F
連絡先 ☎ 018-826-1731 FAX 018-826-1732

News 2020年4月から就職相談に加え、移住相談をスタート! 詳しくは「あきた就職ナビ」で。



あきた就職ナビ 検索



Aターンフェアに参加しよう!

秋田へのU・Iターンを希望する方が、企業の担当者から直接お話を聞ける就職相談会です。東京や仙台など県外での開催のほか、正月やお盆の帰省時期には秋田でも開催されます。企業ブースでは職場環境や求人内容について説明を聞けるほか、市町村ブースで地域の情報や各種支援制度についての相談も受け付けています。

おひとりでも、家族連れでの参加もOK! お気軽に会場までお越しください。



Aターンフェア in 東京



Aターンフェア in 秋田

開催スケジュール

東京会場	
浅草橋ヒューリックホール (東京都台東区浅草橋駅周辺)	2020年10月25日(日)
	2021年2月7日(日)
秋田会場	
秋田拠点センター アルヴェ (秋田駅直結)	2020年8月12日(水)
	2020年12月30日(水)
仙台会場	
イベントホール松栄 (仙台駅東口周辺)	2020年9月27日(日)

※参加企業などの情報は、Webサイト「あきた就職ナビ」に随時掲載します。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止となる場合があります。最新の情報はwebサイト「あきた就職ナビ」をご確認ください。

就職相談窓口「Aターンプラザ秋田」がサポート!

Aターン就職専門の相談窓口です。専門の相談員が希望の職種・地域などを丁寧に個別ヒアリングし、県内企業の求人ととのマッチングをサポートするほか、応募書類や面接のアドバイスも行います。有楽町にある「Aターンサポートセンター」(P17)と連携しているので、暮らしと就職の両面から、あなたの移住をバックアップできます。



Aターンプラザ秋田 (無料職業紹介所)

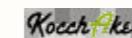
相談日 月曜～金曜(祝日・年末年始期間は除く)
相談時間 9:00～17:45
場所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7F (秋田県東京事務所内)
アクセス 東京メトロ 永田町駅(地下直結)
連絡先 ☎0120-122-255 FAX 03-5212-9116
Email: a-plaza@mail2.pref.akita.jp



県内企業の情報ここにもあります!

新卒向け秋田県就活情報サイト 「KocchAke!」

登録企業500社以上! 企業を紹介する動画や、実際に働いている人のインタビューも。既卒者向けの採用情報を掲載している企業もあります。



こっちゃけ 検索

県内企業の魅力を発信中!

「WE LOVE AKITA」

秋田県出身者が東京で立ち上げた団体「WE LOVE AKITA」が、県内企業を取材し、その魅力をWebサイトで発信しています。



WE LOVE AKITA 検索

最大で200万円が受け取れる 移住支援金のご紹介

東京圏からの移住を促進し、県内中小企業の人材確保を図る支援制度です。
自分も該当するかも? と思ったら窓口へご相談ください。

移住支援金とは…

国、県、市町村が連携し、一定の要件のもと、東京圏から地方に移住して就業する方に、移住支援金を支給する支援制度です。

① 一般分

東京都23区在住者または東京圏[※]から23区内に通勤する方が、移住支援金対象法人に就職した場合

※埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

家族で移住
100万円/世帯

単身で移住
60万円/世帯

② 県単独支援分(加算分)

要件を満たす特定の技術職・専門職の場合に、県からさらに支援金を支給します。

家族で移住
100万円/世帯

単身で移住
60万円/世帯

最大で200万円の支援金を受け取れます!

移住支援金の受給までの流れ



移住支援金を受給するためには…?

一般分、県単独支援分ともに、一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は県の相談窓口や、「秋田移住支援金マッチングサイト」からご確認ください。

移住支援金対象法人とは…?

東京圏に本社がある企業や大資本の企業などを除き、一定の条件を満たし、県に登録された企業です。「移住支援金対象法人」の求人情報は、「秋田移住支援金マッチングサイト」からご覧ください。

移住支援金相談窓口

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進班

場 所 〒010-8570 秋田市山王4-1-1
連絡先 ☎ 018-860-1234
Email: iju@pref.akita.lg.jp

制度や対象求人等の詳細については、
「秋田移住支援金マッチングサイト」をご覧ください。▶



地域を元気にする力になる、 地域おこし協力隊を募集しています!

都市部からの移住者の活躍の場として年々注目度が上昇!
あなたのスキルや経験を生かして、地域を盛り上げてみませんか?

地域おこし協力隊とは?

地方自治体が都市部からの移住者を「地域おこし協力隊員」として任命し、地域が必要とされるさまざまな活動を行ってもらい、地域を活性化させる取組です。任期は最大で3年間、待遇は自治体によって異なります。

制度の詳細や
募集状況はこちらから!

秋田県移住・
定住総合
ポータルサイト



こんな人におすすめ!

- ◆ 地方で暮らしたい
- ◆ 地域のことを深く知りたい
- ◆ スキルや経験を地域に役立てたい
- ◆ 人とのつながりを生かす働き方がしたい
- ◆ 情報発信が得意

自治体によって 活動内容もいろいろ

- ◆ 観光資源の発掘やPR
- ◆ 移住・定住促進活動
- ◆ 地域コミュニティ活動
- ◆ 地域製品の開発やPR
- ◆ 農業の振興 etc…

先輩に聞きました!

大仙市地域おこし協力隊
小川 賢(おがわ けん)さん

地域おこし協力隊としての経験を 秋田で暮らしていくステップに

東京で映像制作の仕事をしていた小川賢さんは、幼少期を秋田県藤里町で過ごし、いつかは秋田で暮らしたいと思っていました。そんなとき、地域の魅力発信を行う大仙市地域おこし協力隊の募集を見つけ、これまでの経験を生かせるのではないかと応募。着任後は、地域に入りこんで取材、撮影、動画編集を行い、YouTubeチャンネルで大仙市の情報を発信しています。任期満了後は、映像制作のスキルを生かして秋田の魅力発信する事業を立ち上げたいと考えている小川さん。「活動を通して、多くの人との出会いや気付きを得ることができます。協力隊の仕事は、秋田で暮らしていくための準備期間と捉えると、さまざまなことにチャレンジできる機会になると思います」。

映像で秋田の
魅力を伝えます!



profile

おがわ けん○東京都出身。父が藤里町出身で、たびたび秋田を訪れる。平成30年4月、大仙市地域おこし協力隊に着任し、大仙市に移住

事業をはじめよう!

秋田で自分なりの事業を始めるとしたら…?

ひとつは「起業」という選択肢。そしてもうひとつが「事業承継」という選択肢。そんなときに頼れる場所や制度をご紹介します。

起業したい

まずは相談してみましょう! 秋田でゼロから事業を始めたい! というときに、相談できる窓口があります。

公益財団法人 あきた企業活性化センター

起業を目指す方に対し、企画・構想の段階から事業化までをサポートします。事業計画へのアドバイスや、補助金の紹介、創業支援室のご案内のほか、起業家交流フェスタも開催しています。

公益財団法人 あきた企業活性化センター
総合企画部 総合相談課

場 所 〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1
秋田県庁第二庁舎2階

連絡先 ☎ 018-860-5610 <http://www.bic-akita.or.jp/>

起業する地域の商工会議所・商工会

商工業の振興発展に努めてきた商工団体としての強みを活かし、夢やアイデアの実現・事業化をプラン作成からトータルサポートしています。起業の夢を応援する創業塾など、高いプロによるバックアップが充実しています。

商工会議所
商工会の情報は
こちらから!



起業支援事業費補助金 県内で起業を目指す方に、必要な経費の一部を助成します。

	Aターン起業・移住起業枠	地域課題解決枠*
対象者	県外在住者が本県に移住し 県内で新規起業を目指す方	県内で地域課題を解決する 事業計画で新規起業を目指す方
補助率 補助額	1/2以内 200万円以内	1/2以内 400万円以内
対象経費	設備費・機械器具費・構築物費などの事業拠点費、 人材育成費、広告宣伝費、旅費、人件費	
問い合わせ 申請窓口	起業する地域の商工会議所・商工会	



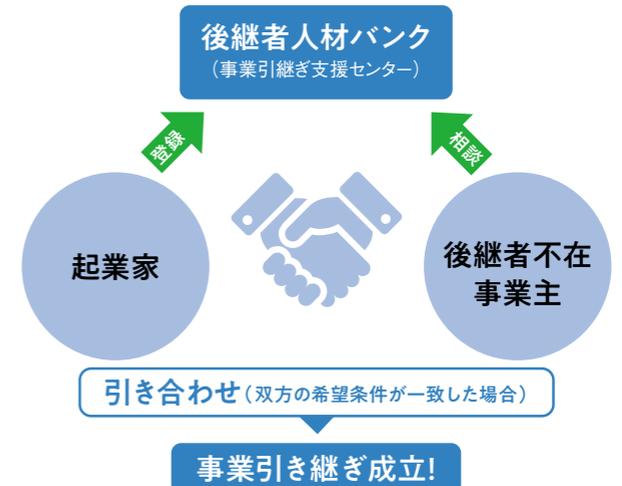
*一定の要件を満たした移住者が「地域課題解決枠」に申請し、採択・交付決定された場合、最大100万円の移住支援金制度の支給対象になる可能性があります。移住支援金制度に関するお問い合わせは、秋田県移住・定住促進課 ☎ 018-860-1234まで。

事業承継

「後継者がいない」「事業承継に不安がある」といった課題を抱える事業者が増えてきています。そこで、これらの事業者と新たに起業したいという方のマッチングを行い、事業承継のサポートを行っています。まずは「秋田県後継者人材バンク」に登録してみませんか? 登録を希望する方は、秋田県事業引継ぎ支援センターまでご相談ください。

事業承継のメリット

- 前の経営者の経営資源を承継できる。
- 創業コストを抑えられる。
- Aターンで経営者に!



お問い合わせ 秋田商工会議所 秋田県事業引継ぎ支援センター ☎ 018-883-3551

先輩に聞きました!

秋田市でガラス工房をオープン
ガラス作家 境田 亜希 (さかいだ あき) さん

「秋田でガラスの文化を根付かせたい」 念願だった自分の工房で作品制作の日々

秋田市出身の境田亜希さんは3年前、2度目のAターンをしました。1度目は、働いていた大阪の商社を退社し、モノづくりについて学ぶため秋田公立美術工芸短期大学へ進学。ガラス制作について学び、卒業後は、富山県のガラス工房で働きガラス作家としての腕を磨いていましたが、ご主人が秋田で仕事をするようになったことと自身の妊娠を機に、再び秋田に戻ることを決めました。

いつか自分の工房を構えたいと考えていた境田さん。「たまたま見つけた秋田銀線細工のデザイン案の公募に応募したことがきっかけで商工会議所とのつながりができました。工房を持ちたいと相談したところ、手厚く親身に相談に乗っていただき、さまざまな支援制度の紹介をしていただきました」。そして、起業支援事業費補助金を活用して、自身の工房を昨年オープンさせました。現在は、作品作りに励み、県内外で作品を販売しています。今後は、工房でワークショップなどを開催していきたいと考えている境田さん。「たくさんの人に魅力を伝え、秋田でガラスの文化を根付かせたい」と意気込んでいます。



profile

さかいだ あき○秋田市出身。3歳の長男の子育てにも奮闘中。自然が豊かな秋田で子育てをしたいと思っていたため、いつかは秋田に戻ろうと思っていたそう



作品は秋田空港や秋田市新屋ガラス工房、食器のさかいだ(秋田市)で販売中

地域に根ざした“起業家”を目指す 「ドチャベン」ってなに？

秋田県では、地域にインパクトと活力を与える人材の誘致を目指しています。

そこで2015年からスタートしたのが「ドチャベン」。
地域資源を生かした起業による移住を全力応援します！

応援します！



ドチャベン=土着ベンチャー

ドチャベンのねらい

No.1

秋田の地域資源と課題に基づいた、ローカルベンチャーの創出

No.2

秋田での可能性や伸びしろを感じている、チャレンジャーの呼び込み

No.3

ドチャベンから地域住民が刺激を受け、チャレンジ精神が伝播する波及効果

2019年度のドチャベンプログラムの様子

テーマ 「野生的起業論 (Spontaneous Entrepreneurship)」

【スケジュール】

2019年7月～9月

- オリエンテーション(東京開催)
プログラムの趣旨説明、起業支援方法の紹介など
- セミナー 全2回(東京開催[同時配信])
毎回講師を招き、起業や移住に関する講義、トークセッションを実施

2019年9月～2020年2月

- 現地ブートキャンプ・滞在型ジャーニー
実際に地域資源や地域課題に触れることで、起業アイデアを醸成
- ビジネスプラン作成支援
コンテストに向けて起業プラン作りをサポート

2020年2月

- ビジネスプランコンテスト
各種プログラムを経て創られた、ビジネスプランの発表会
引き続き、起業の実現に向け、さらなるブラッシュアップを実施



滞在型ジャーニー(羽後町)



ビジネスプランコンテスト



秋田を訪れ、地域資源や課題を知り、そこから事業を生み出す。
そんな「ドチャベンプログラム」を今年度も実施します。
詳しくは秋田県移住・定住促進課(☎018-860-1234)までお問い合わせください！

ビジネスプランコンテスト受賞者の声



「プラネタリウムヨガ」を提供する
ヨガスタジオは2020年9月にオ
ープン予定。オープンに向けた準
備で、八巻さんは大忙し！

合同会社ほしあわせ 代表社員 八巻 枝美(やまき えみ)さん

星がっないだ人の縁で、さらに輝くまちづくりを発信！

能代市の地域おこし協力隊で「星のおねえさん」として活躍する八巻枝美さん。前職は長野県の阿智村で5年間、「星空ナイトツアー」のガイドをしていました。JAXAのロケット実験場がある能代市では「宇宙のまちづくり」に取り組んでおり、2年前に能代市に移住した八巻さんは、その「宇宙のまちづくり」をテーマにした協力隊の活動を行ってきました。

八巻さんは2021年春の任期満了を見据え、協力隊活動を通して出会った方々と『プラネタリウムヨガスタジオ』づくりに取り組んでいます。プラネタリウムヨガスタジオは、満天の星空を投影した幻想的な空間でヨガを楽しむことができるという、全国的にも珍しい施設です。能代市中心市街地の空き店舗の

活用と宇宙のまちづくりを組み合わせたこの構想を知人に話したところ、ドチャベンへの参加を勧められたといいます。

「資料をまとめる中で事業のイメージが固まっていき、おかげでプレゼンテーションでは熱い思いをぶつけることができました」と八巻さん。明確で独創的なアイデアが評価され、銀賞を受賞。その後は能代市役所や商工会議所のサポートを受けながら、プラネタリウムヨガスタジオを運営するための企業を立ち上げ、準備を進めています。「オープンに向け、たくさんの方が知恵や技術を出してサポートしてくれています。地域全体を巻き込んで、能代市の賑わいに繋げたいです」と今後の意気込みを語ってくれました。



夜空の下で楽しむナイトヨガ。八巻さんは、星座の形にちなんだヨガのポーズを考案しており、星空と一緒に楽しめる内容となっている



やまき えみ○岐阜県出身。登山ガイドの資格取得を目指していたころ、初めて白神山地を訪れ、秋田の魅力のとりこに。2年前に能代市の地域おこし協力隊として秋田に移住